

2015年5月13日

平成27年度 鉄道事業設備投資計画 安全対策関連など 総額約207億円

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）は，経営方針において，中長期的視点から安全対策投資を継続的に実施することを掲げております。

平成27年度は，鉄道事業において，総額約207億円（うち安全対策設備投資は約177億円）の設備投資を行います。

設備投資の主な内容は，すべてのお客さまが，より安心してご利用いただけるよう，高架橋耐震補強工事，法面防護，トンネル補修，橋梁補修などの防災・地震対策を積極的に行います。また，ホーム隙間・段差解消など駅の改良工事や車両の新造・改造・更新，列車無線の改良工事，および大師線連続立体交差事業（第1期）工事などの安全対策も引き続き実施いたします。

設備投資計画の詳細は，別紙のとおりです。



高架橋耐震補強（新馬場～青物横丁）



法面防護（追浜～田浦）



新造車両（新1000形）



大師線連続立体交差事業（第1期）

1. 安全対策関連

約 177 億円

(1) 防災・地震対策

約 37 億円

防災・地震対策強化のため、高架橋耐震補強工事のほか、法面防護・トンネル補修・橋梁補修などを行います。

(2) 新造車両と車両更新

約 43 億円

安全・快適にご利用いただけるよう、新型車両「新 1000 形」を新造し、また、既存車両の更新・改造を行います。

●車両の新造	新1000形	20 両
●車両の更新	2100形	24 両

(3) 変電所・電気保安設備などの電気施設の更新・改良

約 41 億円

変電設備の更新をはじめ、列車無線の改良により保安度の向上をさせるなど、電力・信号・通信など諸設備の更新、改良を行います。

(4) 駅改良工事

約 25 億円

さらなる利便性を向上させるため、駅のホーム隙間・段差解消などを行い、安全性向上を図るほか、駅舎の改修・改築を行います。

ホーム隙間・段差解消	対象駅：黄金町駅，三崎口駅
駅舎改修・改築	対象駅：金沢八景駅，神奈川新町，日ノ出町駅，逸見駅 堀ノ内駅，穴守稻荷駅

(5) 連続立体交差化工事

約 9 億円

京急蒲田駅付近連続立体交差化工事は、鉄道を高架化して踏切を解消し、踏切事故や交通渋滞を解消するため、平成 12 年 12 月から事業着手してきました。平成 24 年 10 月に本線平和島駅～六郷土手駅間（約 4.7km）、空港線京急蒲田駅～大鳥居駅間（約 1.3km）の高架化が完了し、28 か所の踏切を廃止、踏切事故および交通渋滞を解消することができました。今年度も引き続き駅舎の工事等を進め、安全性と利便性の向上を図ります。また、大師線連続立体交差事業（第 1 期）工事は、暫定整備区画として東門前駅～小島新田駅間の地下化工事を引き続き進めてまいります。

(6) その他

約 22 億円

工場，検車庫の改良・改修 ほか

※国や地方自治体との共同事業も上記の中には含まれておりますが、金額標記は当社負担分です。

2. その他

約 30 億円